

## 0790 | イラストレーション

2 単位 (通信授業 2 単位)

金子伸二教授、大竹紀美代講師、サダヒロカズノリ講師

## 授業の概要と目標

制作を通じて、イラストレーションでの表現の幅と可能性を考える。目に見えない現象、内面世界やイメージの世界を視覚化する技法を学ぶ。また、自らが持つ表現技法を拡大し、独自の表現スタイルの確立を目指す。教科書を参考に、イラストレーションのルーツや、現在の可能性、世界観を学び、第三者の鑑賞に耐えうる作品の制作方法を修得する。

## 課題の概要

## ○ 通信授業課題 1

「写真とイラストレーション」

写真の内容をイラストレーションと文章を使って表現する。一見ばらばらに思える「写真」「文字」「絵」を一枚の紙に構成することで、3つの表現のバランス感覚を養いながら、イラストレーションの技術を習得する。

## ○ 通信授業課題 2

「いまの“わたし”に至るまで」

美術を志すきっかけとなった出来事を、イラストレーションと文章を使って表現する。自らの創造の原点を探し、それらを第三者へ伝えるための技術を習得する。

\* 課題については学習指導書『イラストレーション 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

[通信授業]

## ・ 描かれる世界

(イラストレーションとは/未知の世界へのまなざし/見えないものを描く)

## ・ 書物とイラストレーション

(書物と挿絵の出会い/書物の中の挿絵/書物と挿絵の出会い/諷刺画がつくり出したイメージと擬人化/挿絵と印刷技術の深いかかわり/挿絵からイラストレーションへ—挿絵本と絵本)

## ・ ことばとイメージ

(絵本におけることばとイメージ/ことばとイメージの相互作用/ことばの視覚化/イメージの視覚化/イメージのひろがり)

## 成績評価の方法

課題作品の評価の平均による。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

## 教材等

教科書：今井良朗編著『絵本とイラストレーション—見えることば、見えないことば—』

(武蔵野美術大学出版局 2014年)

学習指導書：『イラストレーション 平成 29 年度』(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年)